

BEST AVAILABLE COPY

**ELECTRONIC CATALOGUE SYSTEM**

Patent Number: JP7230502  
Publication date: 1995-08-29  
Inventor(s): ENOMOTO MITSUNOBU; others: 04  
Applicant(s):: SANYO ELECTRIC CO LTD  
Requested Patent: ☐ JP7230502  
Application Number: JP19940019544 19940216  
Priority Number(s):  
IPC Classification: G06F17/60 ; H04M11/00  
EC Classification:  
Equivalents:

---

**Abstract**

---

**PURPOSE:**To reduce the size and weight of a catalogue by reading out information relating to plural commodities from a recording medium recording it, selecting a commodity relating to displayed information and preparing order information.

**CONSTITUTION:**When a consumer requests a catalogue by a telephone system, a postal matter or the like, a trader checks whether the consumer has been registered as a customer or not by a customer data base 81, and if not registered, registers the consumer. Then the trader sends the catalogue (CD-ROM 10) in accordance with the request. The consumer loads the sent CD-ROM 10 on a player 1 to reproduce it, display recorded commodity information on a monitor and retrieve commodities. When necessary, the consumer inquires the stock of the commodities. In response to the inquiry, the computer 8 checks a commodity data base 82 and provides stock information.

---

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-230502

(43) 公開日 平成7年(1995)8月29日

(51) Int. Cl. <sup>6</sup>	識別記号	庁内整理番号	P I	技術表示箇所
G 0 6 F 17/80				
H 0 4 M 11/00	3 0 1	8324-5K	G 0 6 F 15/ 21	3 3 0

審査請求 未請求 請求項の数 9 O L (全 14 頁)

(21) 出願番号 特願平6-19544

(22) 出願日 平成6年(1994)2月16日

(71) 出願人 000001889

三洋電機株式会社

大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号

(72) 発明者 根本 光伸

大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三洋電機株式会社内

(72) 発明者 浅尾 元明

大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三洋電機株式会社内

(72) 発明者 藤瀬 幸雄

大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三洋電機株式会社内

(74) 代理人 弁理士 河野 登夫

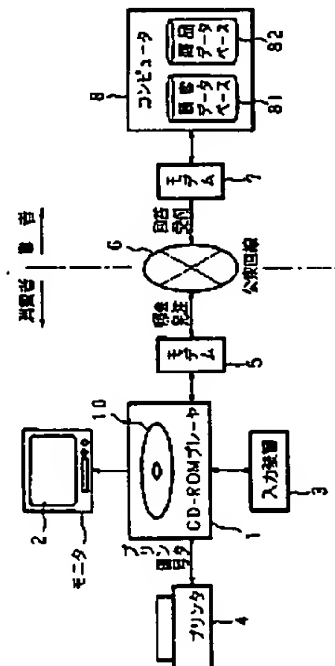
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 電子カタログシステム

(57) 【要約】

【目的】 分厚い重畳の書籍カタログに替えて電子的記録媒体 (CD-ROM 等) を用いることでカタログの軽量化を図る。

【構成】 CD-ROM 10 に商品情報が記録してあり、これを CD-ROM プレーヤ 1 に装填して再生し、モニタ 2 に表示させる。表示画面上で購入の指示をすることができ、その発注は公衆回線を通して業者のコンピュータ 8 へ伝送される。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の商品に係る情報を記録してある記録媒体と、  
該記録媒体からその記録情報を読出す手段と、  
読出した情報を表示する手段と、  
表示された情報に係る商品を選択する手段と、  
選択した商品に係る発注情報を作成する手段とを備えることを特徴とする電子カタログシステム。

【請求項2】 前記商品の販売業者の通信手段と通信網を介して接続する手段と、  
該手段を用いて前記発注情報を前記販売業者の通信手段へ送信する手段とを備える請求項1記載の電子カタログシステム。

【請求項3】 前記発注情報の印出力手段を備える請求項1又は2記載の電子カタログシステム。

【請求項4】 前記発注情報を記憶しておく手段を備える請求項1、2又は3記載の電子カタログシステム。

【請求項5】 複数の商品に係る情報を記録してある記録媒体と、  
該記録媒体からその記録情報を読出す手段と、  
読出した情報を表示する手段と、  
表示された情報に係る商品を選択する手段と、  
前記商品の販売業者の通信手段と通信網を介して接続する手段と、  
該手段を用いて選択した商品特定する情報を前記販売業者の通信手段へ送信する手段と、  
前記販売業者の通信手段に接続され、前記複数の商品の在庫情報を有するデータベースと、  
送信されてきた情報に対応する商品の在庫をデータベースで調べる手段と、  
その結果を送信元へ返送する手段とを備えることを特徴とする電子カタログシステム。

【請求項6】 複数の商品に係る情報を記録してある記録媒体と、  
該記録媒体からその記録情報を読出す手段と、  
読出した情報を表示する手段と、  
表示画面に特定情報を付加する手段と、  
該特定情報が付加された画面を選択的に表示させる手段とを備えることを特徴とする電子カタログシステム。

【請求項7】 複数の商品に係る情報を記録してある記録媒体と、  
該記録媒体からその記録情報を読出す手段と、  
読出した情報に係る商品の情報を表示する手段と、  
該手段による表示画面を用いて前記商品に関連する他の商品の情報の読出しを指示する手段とを備えることを特徴とする電子カタログシステム。

【請求項8】 複数の商品に係る情報を記録してある記録媒体と、  
該記録媒体からその記録情報を読出す手段と、  
読出した情報を予め定められた順序で表示する手段とを

備え、前記順序に係る情報を前記記録媒体に記録してあることを特徴とする電子カタログシステム。

【請求項9】 複数の商品に係る情報を記録してある記録媒体と、  
該記録媒体からその記録情報を読出す手段と、  
読出した情報を表示する手段と、  
表示された情報に係る商品を選択する手段と、  
選択した商品に係る発注情報を作成する手段とを備え、  
これらの手段に係る制御情報を前記記録媒体に記録してあることを特徴とする電子カタログシステム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明はCD-ROMなどの記録媒体を利用した全く新しい電子カタログシステムに関する。

## 【0002】

【従来の技術】 通信販売の一形態として、カタログを消費者へ定期的に送付し、これに添付した書式に注文商品を入力させ、この注文書を送送させ、これに従い商品を発送するというものがある。斯かる通信販売システムでは注文書の作成返送が煩わしいという消費者側での難点があり、また販売業者側では注文書から電算機への入力ミスがある等の問題点がある。そこでカタログにバーコードを印刷しておき、これをバーコードで読取ることにより注文商品の指定ができ、読取った情報を電話回線を通じて販売業者の電算機へ送ることができるようにしたシステムが提案されている（特開平1-288049号、特開平1-288050号、特開平1-305685号）。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 このような新システムであっても販売業者はカタログを作成し、送付する必要があり、その製作コスト、配送コストは大きな負担となっている。即ち、これらの費用の商品当たりコストを低減するために多数の商品をカタログに掲載せざるを得ず、このために全体としての製作コストが増すことは勿論、重量化による配送コスト上昇を惹起するのである。

【0004】 本発明はこのような従来システムの問題点を解決するためになされたものであり、CD-ROM等の記録媒体をカタログとして用いることにより、カタログを軽量化して配送コストを軽減し、また編集、改版を容易化して製作コストを低減できる電子カタログシステムを提供することを目的とする。

【0005】 またこのようなシステムでは前述した従来技術同様に通信網を介して電子的注文データを送信することができるが、これに先立ち販売業者の在庫確認ができるようにして無駄な発注をすることがない電子カタログシステムを提供することを他の目的とする。

【0006】 更にこのような電子カタログシステムでは商品情報の表示はCRT、LCD等の画面で行われるが、一般的書籍カタログのように興味あるページにしおりを挟んだり、マークを付するのと同様の機能が望まれる。この

10

20

30

40

50

ようなしおり機能をもせしめた電子カタログシステムを提供することを更に他の目的としている。

【0007】更に関連する商品の情報を迅速且つ容易に表示させたいという要求に応じられる電子カタログシステムを提供することを他の目的とする。

【0008】また販売業者が意図する商品を、また意図する順序で表示させる電子カタログシステムを提供することを更に他の目的としている。

【0009】そして、汎用的な再生装置、表示装置を備えていれば記録媒体を入手するだけで、表示、発注等の処理ができる電子カタログシステムを提供することを更に他の目的としている。

【0010】

【課題を解決するための手段】第1発明は注文書に相当する発注情報作成を行わせるシステムである。即ち第1発明の電子カタログシステムは、複数の商品に係る情報を記録してある記録媒体と、該記録媒体からその記録情報を読出す手段と、読出した情報を表示する手段と、表示された情報に係る商品を選択する手段と、選択した商品に係る発注情報を作成する手段とを備えることを特徴とする。

【0011】第2発明は発注情報を電話回線等の通信網を介して販売業者の電算機へ送信できるシステムである。即ち第2発明の電子カタログシステムは、前記商品の販売業者の通信手段と通信網を介して接続する手段と、該手段を用いて前記発注情報を前記販売業者の通信手段へ送信する手段とを備えることを特徴とする。

【0012】第3発明は注文書をプリントさせて郵送で発注することを可能とするシステムである。第3発明に係る電子カタログシステムは、前記発注情報の印写出力手段を備えることを特徴とする。

【0013】第4発明は発注情報を後日の確認のために記憶させておかんとするものであり、第4発明の電子カタログシステムは、前記発注情報を記憶しておく手段を備えることを特徴とする。

【0014】第5発明は消費者側から在庫情報の照会を可能とした電子カタログシステムである。即ち第5発明の電子カタログシステムは、複数の商品に係る情報を記録してある記録媒体と、該記録媒体からその記録情報を読出す手段と、読出した情報を表示する手段と、表示された情報に係る商品を選択する手段と、前記商品の販売業者の通信手段と通信網を介して接続する手段と、該手段を用いて選択した商品を特定する情報を前記販売業者の通信手段へ送信する手段と、前記販売業者の通信手段に接続され、前記複数の商品の在庫情報を有するデータベースと、送信されてきた情報に対応する商品の在庫をデータベースで調べる手段と、その結果を送信元へ返送する手段とを備えることを特徴とする。

【0015】第6発明はしおり機能に係るものである。第6発明の電子カタログシステムは、複数の商品に係る

情報を記録してある記録媒体と、該記録媒体からその記録情報を読出す手段と、読出した情報を表示する手段と、表示画面にしおりに相当する特定情報を付加する手段と、該特定情報が付加された画面を選択的に表示させる手段とを備えることを特徴とする。

【0016】第7発明は関連商品の情報を呼出して表示させるものである。第7発明の電子カタログシステムは、複数の商品に係る情報を記録してある記録媒体と、該記録媒体からその記録情報を読出す手段と、読出した情報に係る商品の情報を表示する手段と、該手段による表示画面を用いて前記商品に関連する他の商品の情報の読出しを指示する手段とを備えることを特徴とする。

【0017】第8発明は販売業者が望む商品の表示を優先的に行わせることを可能とするものである。即ち第8発明の電子カタログシステムは、複数の商品に係る情報を記録してある記録媒体と、該記録媒体からその記録情報を読出す手段と、読出した情報を予め定められた順序で表示する手段とを備え、前記順序に係る情報を前記記録媒体に記録してあることを特徴とする。

【0018】第9発明は記録媒体再生装置側に、その発注等のための特別のプログラムを用意せずとも、商品情報を記録した記録媒体に所要プログラムをも併せて記録させた電子カタログシステムである。即ち第9発明の電子カタログシステムは、複数の商品に係る情報を記録してある記録媒体と、該記録媒体からその記録情報を読出す手段と、読出した情報を表示する手段と、表示された情報に係る商品を選択する手段と、選択した商品に係る発注情報を作成する手段とを備え、これらの手段に係る制御情報を前記記録媒体に記録してあることを特徴とする。

【0019】

【作用】第1発明のシステムでは記録媒体に記録されている商品に係る情報が読出されて表示される。操作者(消費者)が所要操作をすることで、商品が選択され、これにより発注情報が作成される。第2発明のシステムではこの発注情報が通信網を介して販売業者の通信手段へ送信される。

【0020】第3発明のシステムでは発注情報のハードコピーが得られる。第2発明のような送信をしない場合は、これを注文書として販売業者へ郵送するのに使用すればよい。通信網で送信した場合には後日の確認用に供すればよい。第4発明のシステムでは発注情報を記憶手段から読み出して表示させることが可能であり、やはり後日の確認用に供せられる。

【0021】第5発明のシステムでは販売業者側では在庫情報のデータベースを備えており、ここに消費者側から商品在庫の照会があると、それに対する在庫の有無が消費者へ報知される。第6発明のシステムでは前記特定情報が電子的なしおりとなり、これを付加したものだけが選択的に表示されることになる。

【0022】第7発明のシステムではベッドが表示されている場合に枕、枕カバー、毛布、シーツ、掛布団、ベッドカバーなどの関連商品を容易に表示させることができる。第8発明では販売業者が受注に注力したい商品を優先的に見させる（言わばカタログにおける巻頭特集の如く）ことが可能となる。第9発明では記録媒体1つで商品情報と、その表示、発注情報作成のためのプログラムとを提供できる。

【0023】

【実施例】以下本発明をその実施例を示す図面に基づいて詳述する。

#### ハードウェア

図1は本発明の電子カタログシステムの全体的構成図であり、通信販売業者のコンピュータ8はモデム7を介して公衆回線6と連なっており、ここに多数の消費者のモデム5（図には一消費者のもののみを示す）が接続されている。コンピュータ8は顧客情報、商品情報のデータベース81、82を有している。本発明システムの中核をなすのはCD-ROMプレーヤ1であり、モデム5との間のデータ送受信を、従ってコンピュータ8とのデータ送受信を可能としている。CD-ROMプレーヤ3には月次又は四季ごとに業者から送付されてくるCD-ROM 10のカタログが装填され、再生される。

【0024】CD-ROMプレーヤ1にはマウス、コントロールパッド等の入力装置3が接続され、CD-ROM 10の再生の指示、画面変更、発注の指示等をこれで行うようにしている。CD-ROMプレーヤ1にはCD-ROM 10からの読出情報、入力装置3からの入力情報等を表示するためのモニタ2、発注情報の印写のためのプリンタ4が接続されている。

\*30 【表1】

表 1

商品番号	大分類	小分類	商品名	価 格	商品コード	表示データ	リンク情報
1	電気製品	AV商品	大型テレビ	¥500,000	AVT00001	・静止画 ・音声 ・動画	関連商品→100, ... リンク先→200, ...
2	電気製品	AV商品	小型テレビ	¥150,000	AVT00002		関連商品→100, ...
}	}	}	}	}	}		}
100	電気製品	AV商品	ビデオ	¥100,000	AVV00010		関連商品→1, 2, ...
}	}	}	}	}	}		}
200	家具	陶 器	花 瓶	¥1,000,000	TK0123		関連商品→201, ...
}	}	}	}	}	}		}

【0028】更にCD-ROM 10にはこの電子カタログシステムを動作させるための制御プログラムが記録されてお

\*【0025】図2はCD-ROMプレーヤ1のブロック図である。MPU 11はこのプレーヤ1の制御中核であり、CD-ROMプレーヤ1の制御プログラムを格納したROM 12、ワークメモリとしてのRAM 13、発注情報格納用の不揮発性メモリ14、CR-ROM再生装置18の制御をする補助記憶制御装置19、入力装置3のインターフェースである入力制御装置15、プリンタ4のインターフェースである出力制御装置16、モデム5との間で送受信制御を行う通信制御装置17並びにモニタ2に表示させるべき画像情報及び音声情報を夫々記憶するビデオメモリ20及び音声用バッファ21と共にバスに接続され、これらの相互間のデータ送受を可能としている。その他ビデオ用D/A変換器22はビデオメモリ20内のデジタルデータをモニタ2へ与えるに際しアナログデータに変換し、また音声用D/A変換器23は音声用バッファ21内のデジタルデータをモニタ2へ与えるに際しアナログデータに変換するものである。

#### 【0026】CD-ROMの記録情報

表1はCD-ROM 10に記憶されている商品情報の例を示している。即ち当該CD-ROM 10内での整理のため番号、各商品が属する大分類、小分類、商品名（型番等も含む）、価格、商品コードの外にCD-ROMの特性を生かした表示データを有する。即ちテキストと、モニタ2画面に表示する画像情報（写真などの静止画、コンピュータグラフィックス、ビデオ等の動画）と、そのスピーカから出すべき音声情報（音楽、ナレーション）とを含んでいる。更に第8発明に係るリンク情報を記録してある。これは当該商品と関連する商品の番号及び後述するリンク商品の番号が記録されている。

【0027】

り、MPU 11はこれを最初に読出してRAM 13に記憶させ、それに従う後述の如き制御を行う。なお電子カタログシ

システムの専用機としてCD-ROM プレーヤ1を構成する場合はROM 12にその制御プログラムを格納しておけばよい。またCD-ROM 10には上述した如き商品情報のみを記録しておき、制御プログラムはメモリカード等で提供する等のことも可能である。

#### 【0029】システムの全体的説明

図3はこのシステムの全体的使用方法を説明するためのフローチャートである。消費者が業者にカタログを電話、郵便等によって請求すると(S31)、業者は請求者がコンピュータ8の顧客データベース81でその消費者が顧客として登録されているか否かを調べ(S41)、未登録の場合は、この消費者を登録する(S42)。そして請求に応じてカタログ(CD-ROM 10)を発送する(S43)。消費者は送られてきたCD-ROM 10をプレーヤ1に装填し、これを再生する(S32)。そして記録されている商品情報をモニタ2に表示させて商品の検索をする(S33, S34, S37)。必要に応じて商品の在庫について照会を行う(S35, S36)。これには公衆回線6を用いての通信が業者のコンピュータ8との間で行われる。コンピュータ8はこの照会に応じて商品データベース82を調べて在庫情報を提供する(S44)。なおこの照会は在庫情報に限らず納期、その他の情報をも含む。

【0030】購入商品がある場合は(S38)、購入処理(S39)を行う。この場合も公衆回線6を介してコンピュータ8とのデータ送受が行われ、コンピュータ8は注文の受付処理を行う(S45)。本発明のシステムが関与するのはここまでであり、爾後商品の発送(S46)、代金の支払い(S40)が行われる。

#### 【0031】商品の検索・表示

次にCD-ROM 10の記録情報を表示させ、また所望商品を検索する場合の操作及びMPU 11による処理の手順を図4、図5のフローチャートに従って説明する。CD-ROM 10をプレーヤ1に装填して電源を入れると(S51)、図6に示すメインメニューが表示される(S52)。入力装置3の操作により所望のメニューを選択する操作を行えばよい(S53)が、メニューとしては商品をページ順にながめるページ表示(S54)、業者が推薦する商品を自動的に表示させてながめる自動展示(S59)、欲しい商品を探す、  
【2通りあり、品目のみで検索する品目検索(S60)及び複数条件(品目と価格など)で検索する条件検索(S67)】しおりを付加した商品を見るしおりモード(S68)が用意されている。これらのモードは入力装置3の操作(マウスのクリック等)によって選択される。

【0032】ページ表示(S54)のモードは1頁として用意されている1画面ずつを入力装置3の操作に従って順次表示するものであり、図7にその1例を示す。画面には静止画情報が表示されて、商品紹介ナレーションが音声出力される。画面下側にはソフトファンクションキーが表示されており、「次ページ」、「前ページ」の操作があると(S55, S550)夫々次ページ、前ページへ表示が進

む。「終了」の操作があると(S56)このモードは終了する。「しおり」の操作があるとこのページは「しおり」の付加が行われる。これについては後述する。「前しおり」、「後しおり」が操作されるとステップS68へ移り、このページより前に(後に)あるしおり付加ページ(画面)へ表示が変更される。更に表示画面中の商品を指示すると、その商品の表示が例えば図12のように行われる(S57~S59)。これは他のモードのステップS64~S66及びS73~S75と同様である。

【0033】メインメニュー(S52)で「商品を探す」を選択した場合は図8に示すような商品検索のためのメニューが表示される。図示のような品目検索(S60に相当)を選択すると図9(a)に示すような品目検索画面が現れCD-ROM 10中の商品情報の大分類が表示される。ソフトキーの「選択」を選択すると指示した大分類のものが選択され、図9(b)に示すような小分類の商品リストが表示される。ソフトキー「戻る」はメインメニューへ戻る。図9(b)の状態でソフトキー「表示」を選択すると指示した小分類の一覧表示(S61)が行われる。ソフトキー「選択」を選択した場合は指示した小分類の更に下位の分類のものが表示され、また最下位の分類である場合は一覧表示(S61)となる。ソフトキー「戻る」は図9(a)の画面に戻る。図10、図11は一覧表示の画面の例を示し、前者はテキストモードによる一覧表示、後者は画像モードによる一覧表示である。

【0034】ソフトキー「画像モード」、「テキストモード」は夫々表示モードの切換である。ソフトキー「表示」を選択した場合は指示した商品の表示が図12のように行われる(S64, S65, S650, S66)。ソフトキー「検索」は再検索(S62)となり、図8の画面へ戻る。ソフトキー「終了」はメインメニューへ戻る(S63)。図12の画面においてソフトキー「次商品」、「前商品」は夫々図10、11の次、前の商品の表示を指示するものである(S65, S650)。ソフトキー「戻る」は図10又は図11へ戻ることを指示するためのものである。ソフトキー「購入」は当該表示商品を後述するような発注情報に加える処理を行わせる。

【0035】図13、14は条件検索(S67)のモードを選択した場合の画面を示している。まず検索条件の項目が一覧表示され【図13(a)】。項目の選択及びソフトキー「選択」の操作で該当項目の条件が一覧表示される【図13(b)】。図14(a)は「品目」を選んだ場合を示している。図13のソフトキーで「戻る」はいずれも前画面への復帰を指示するためのものである。ソフトキー「条件追加」は更なる絞り込み条件を追加することを指示するためのものであり、図13(a)の条件項目選択画面へ戻り、他の項目の選択を行わせる。図14(a)は品目及び価格の2条件を設定した状態を示す。ソフトキー「条件削除」は既設定項目の削除を指示するためのものであり、ソフトキー「検索開始」は設定条件での検索を指示するため

のものである。この検索が指示されるとMPU 11はCD-ROM 10の商品情報から設定条件のものを検出し、図14(h)に示すように検索件数を表示する。ソフトキー「表示」は検索結果を図10又は図11の如く一覧表示させる(S61)。

【0036】図15は自動展示(S69)のためにCD-ROMに記録してあるデータの概念図である。このモードは図6のメインメニューで「商品をながめる(今月のおすすめ)」を選択した場合に実行される。業者が特別価格を設定して大量受注を図りたいもの等の表示に用いられる。即ち順番を付したページ(画面)ごとにその表示データを記録しており表示データは表1に示す商品番号と表示位置(画面上でのX,Y座標)である。

【0037】図16はその表示の1例を示し、1画面に複数商品を並べ、又は重ねて表示する。そして次ページ、前ページの表示をソフトキーの操作で行わせる(S70,S71)。商品の表示のステップS72~S74については指示した商品について図12のような表示を行わせることになる。なおこの自動展示の表示は1画面に1商品であってもよい。

【0038】次にしおり機能について説明する。図17はしおりを付加する場合の処理を示すフローチャートであり、これを実現するためにRAM 13(不揮発性メモリ14でもよい)内に図18に示すようにしおり記憶領域を用意する。商品の表示が図7のように行われている場合に(S81)ソフトキー「しおり」が選択されると(S82)、しおり記憶領域に表示商品が記憶されているか、つまりこの商品にしおりが付加されているか否かが調べられる(S83,S84)。

【0039】図18(a)に示すように番号1,3,10の商品の記憶が既に行われており、表示商品が5であった場合は図18(b)のようにこれを記憶する(S85)。一方、表示商品が3であった場合はこれを削除する(S86)。つまりソフトキー「しおり」はしおり領域に記憶していない場合はこれを付加し、既記憶の場合は削除する。なおソフトキー「しおり」の操作が2回あったことでしおりが削除される不都合を回避するために2回(又はそれ以上)操作した場合に、しおりを2重(多重)に付加することとしてもよい。この場合はソフトキーで「しおり削除」を設けることとする。

【0040】而してしおりを付加したものの表示はステップS68のサブルーチンで「前しおり」、「次しおり」のソフトキー操作で行われるが、これはしおり記憶領域の記憶順序に従って読出しを行うことで実現される。

【0041】次に商品の表示(S57)等のサブルーチンにおける関連商品の表示又はリンク商品の表示について説明する。図19は商品表示画面の1例をソフトキーを省略して示している。表1に示すように番号1の商品は関連商品100、リンク商品200の情報を有している。そこでテキスト表示部の「ビデオ」又はVTRの画像表示領域を

選択指示すると番号100のVTRの商品情報が表示されることになる。一方花瓶の表示領域を選択指示すると番号200の花瓶の商品情報が表示される。

【0042】図20、表2はリンク商品の表示形態とこれを可能とするための表示領域情報(CD-ROM 10に記録してある)とを示している。図20(a)に示す表示画面は各商品ごとに記憶されている表2の如き表示領域情報(左上座標及び右下座標で規定)に基づいて図20(b)に示す如くその表示領域が規定され、ここに夫々の静止画情報が表示される。表示領域に重なりがある場合は記憶情報の優先順位(表2では上が優先)に従い重ね合わせの表示を行い、また商品の選択指示も重なっている領域では表示が上のもの(表示における優先度が高いもの)が選択される。

【0043】図21は複数表示されている商品からリンク商品を表示するための処理手順を示すフローチャートである。図20の如き商品の表示が行われている場合に(S91)、商品の表示領域に含まれる一点を指定すると(S92)、MPU 11は表2のテーブルで当該商品のリンク商品情報を検索する(S93)。

【0044】

【表2】

表 2

表示領域	商品番号
(100, 150) - (150, 200)	100
(10, 100) - (40, 250)	300
(50, 50) - (200, 250)	1
(260, 100) - (280, 250)	300

↑  
選択優先順位

【0045】指定した点の座標がテーブルに有るか否かを調べ(S94)、これが存在する場合は数を調べ(S95)、単一であれば、その商品の番号を得て(S97)これを表示させる(S98)。複数ある場合は優先順位の高いものを選択し(S96)、その番号を得て表示させる(S97,S98)。

【0046】購入処理

図4、図5のステップS57,S64等の商品表示を行っている場合において図12の如き表示画面を得てソフトキー「購入」を選択指示した場合は当該商品が購入商品リストに記憶される。このリストはRAM 13又は不揮発性メモリ14のいずれかに設ける。RAM 13に設けた場合は、コンピュータ8への転送後に不揮発性メモリ14へ書き込むこととする。図22~24はメインメニューで「商品の注文をする」を選択した場合の購入処理の手順を示すフローチャートである。

【0047】まず上述の購入商品のリストの内容をモニタ2に表示させる(S1)。図25は表示画面の1例を示している。この例では番号、品目、個数、価格が表示され、更に税込合計価格等が表示されている。商品確認の

ために(S2)、商品情報を表示させる場合はその商品及びソフトキー「表示」を選択指示する(S3)。また購入商品リストに記憶させたものの取消したい商品がある場合(S4)は、その商品及びソフトキー「削除」を選択指示する。これにより購入商品リストから当該商品は削除される(S5)。更に全商品の購入を中止する場合はファンクションキー「購入中止」を選択指示する(S6)。

【0048】以上の処理を終えて注文する場合(S7)においてオフライン注文、即ち郵便による注文をする場合はソフトキー「プリント」を選択指示する(S8)。「プリント」を指示した場合はプリンタ4により発注情報が印写される(S24)。発注情報は購入商品リストの内容の外に発注者の住所、氏名、発注日等を含む。発注者の住所、氏名はCD-ROM 10により提供することとしてもよいし、別途メモカード等によって提供する制御プログラムによって提供することとしてもよい。入力装置3としてキーボードを備える場合は発注者の入力操作によることとすればよい。発注日時にCPU 11のカレンダー機能によればよい。

【0049】ソフトキー「注文」を選択指示した場合はオンライン注文となり、MPU 11は通信制御装置17に所定の指令を発して業者の電話番号の発呼処理を行わせる。この発呼によりプレーヤ1はモデム5、公衆回線6、モデム7を介してコンピュータ8に接続される(S9)。そして発注情報を送信する(S10)。これを受けたコンピュータ8は商品データベース82を調べ、在庫の有無、無い場合の納期、入荷不能(売り切れ)等の情報を返信する(S25)。プレーヤ1はこれを図26に示すようにモニタ2に表示させる(S11)。この段階でも一部商品の削除、前商品の購入削除がソフトキーで可能である(S12, S13, S14)。これらの処理はこの段階ではプレーヤ1内の購入商品リストの訂正のみならず、コンピュータ8側へも送信してその訂正を要求する。

【0050】一方、ソフトキー「注文」が選択指示された場合は購入商品リストが確定されて発注処理が行われる(S15)。これを受けてコンピュータ8はパスワードを要求する(S26)。図27はこの要求を受けた場合のモニタ2の表示画面であり、ここでパスワードを入力する(S16)。入力装置3としてキーボードを備えない場合はクリックで1字ずつ選択し、また1桁ずつ確定していく等の方法をとる。パスワードが送信されるとコンピュータ8はデータベース81の顧客情報から受信パスワードをチェックする(S27)。パスワードが不適である場合はコンピュータ8は注文拒否の信号を送り、これを受けたプレーヤ1は回線切断をする(S17, S19)。パスワードが適切であった場合は(S18) コンピュータ8から注文受付確認のデータが送出(S28)されてくるので、この受信をした上で回線を切断する(S19)。なおデータ通信に用いる信号形態は任意である。発注した場合は(S20)、発注情報の記憶をRAM 13から不揮発性メモリ14へ転送することで

行う(S21)(発注リストをRAM13に設けた場合)。また確認情報として残しておくためにプリンタ4に印写させる(S22)。またこの間、モニタ2にも表示させる(S23)。

【0051】なお前述の実施例では記憶媒体としてCD-ROMを使用した。半導体メモリ等ランダムアクセスが可能なものであれば代替可能である。

【0052】

【発明の効果】以上の如き本発明による場合は書籍カタログ、つまり紙を情報伝送媒体としないので、情報記録密度が高く、カタログが小型、軽量化でき、このため配送コストが大幅に低減する。更に複数月、複数季節にまたがってカタログ掲載される商品の情報はそのまま利用できる。改版に伴う編集コストは安価になる。

【0053】また第2発明によれば、即時的に発注ができ、発注者の手間が省けると共に、販売業者側でも受注情報のコンピュータ入力に手間を要せず、また入力ミスに伴う誤りがなく、信頼性が向上する。第3発明ではオフライン発注ができる効果がある。また第3、第4発明では後日の確認を印写物又は画面で行うことができ、受発注に伴うトラブルを回避できる。

【0054】第5発明では在庫を確認した上で発注ができるので、後日購入不可と判明することによる不具合が回避できる。第6発明では電子的にしおりを付加することができ、再度見たい情報を容易、迅速に取出せ、操作性の向上に寄与する。

【0055】第7発明では関連する商品、画面に表示されている商品の情報を即時的に取出せ、やはり操作性が向上する。第8発明においては業者が意図する表示を行わせ得、販売の促進等に有効なシステムが構築できる。第9発明によれば、業者は記録媒体を提供するだけで自らへの受注を行わせるシステムを構築できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明システム全体のブロック図である。

【図2】本発明システムのCD-ROM プレーヤのブロック図である。

【図3】システム全体の説明のためのフローチャートである。

【図4】商品の検索・表示の処理のフローチャートである。

【図5】商品の検索・表示の処理のフローチャートである。

【図6】メインメニュー画面を示す説明図である。

【図7】商品表示画面を示す説明図である。

【図8】商品検索の場合のメニュー画面を示す説明図である。

【図9】商品検索の場合の大分類表示画面を示す説明図である。

【図10】商品検索の場合の結果の画面を示す説明図である。

【図11】商品検索の場合の結果の画面を示す説明図である。



ある。

【図12】商品画面の表示例を示す説明図である。

【図13】条件検索の場合の表示画面の例を示す説明図である。

【図14】条件検索の場合の表示画面の例を示す説明図である。

【図15】自動展示の記録情報の概念図である。

【図16】自動展示の表示の説明図である。

【図17】しおり処理の説明図である。

【図18】しおり記憶領域の概念図である。

【図19】リンク商品の表示画面の説明図である。

【図20】リンク商品の表示画面の説明図である。

【図21】リンク商品の表示の処理手順を示すフローチャートである。

【図22】購入処理のフローチャートである。

【図23】購入処理のフローチャートである。

【図24】購入処理のフローチャートである。

【図25】購入処理の間の画面表示例である。

【図26】購入処理の間の画面表示例である。

\*【図27】購入処理の間の画面表示例である。

【符号の説明】

1 CD-ROM プレーヤ

2 モニタ

3 入力装置

4 プリンタ

5 モデム

6 公衆回線

7 モデム

10 8 コンピュータ

10 CD-ROM

11 MPU

12 ROM

13 RAM

14 不揮発性メモリ

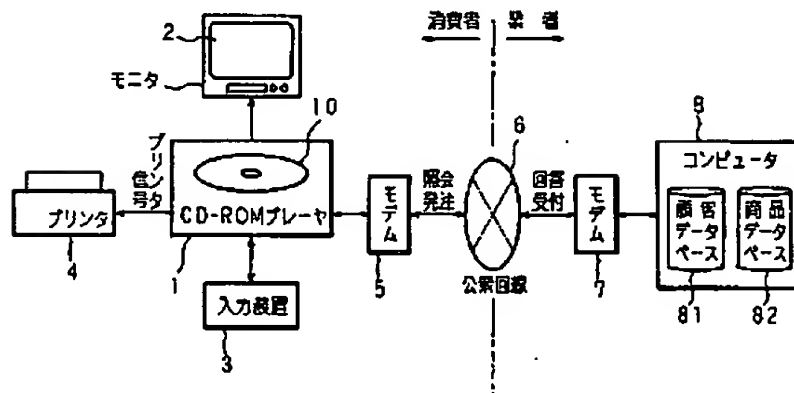
17 通信制御装置

18 CD-ROM 再生装置

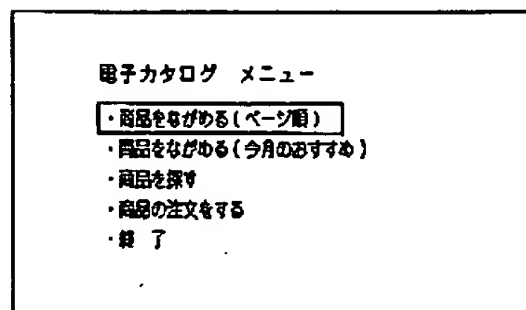
81 顧客データベース

\* 82 商品データベース

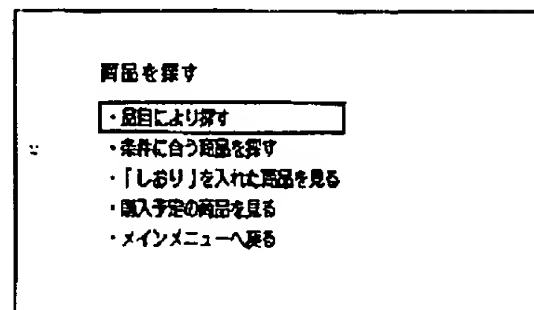
【図1】



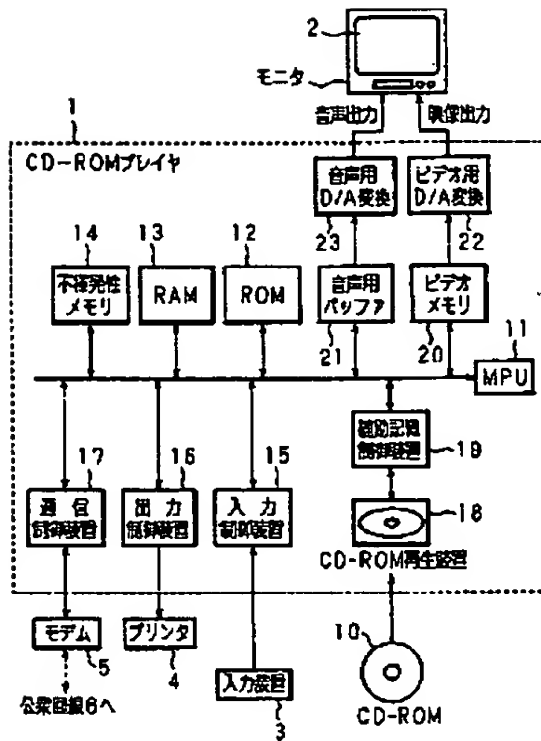
【図6】



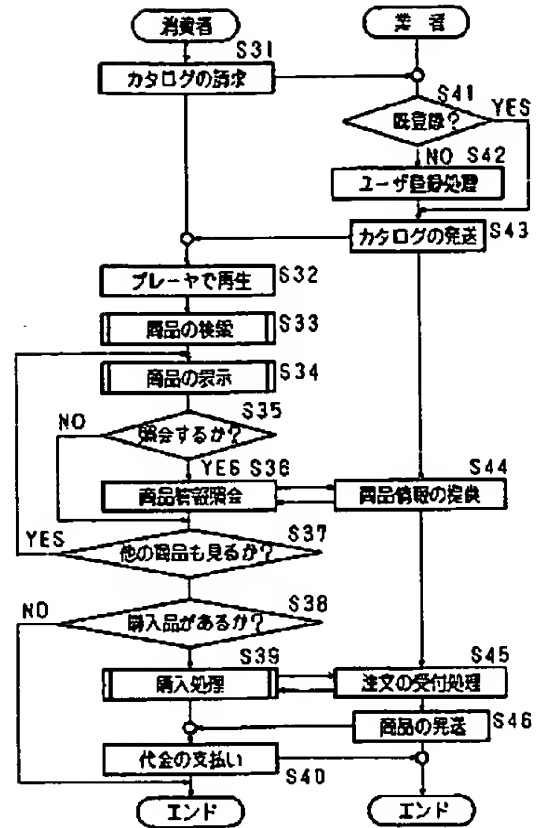
【図8】



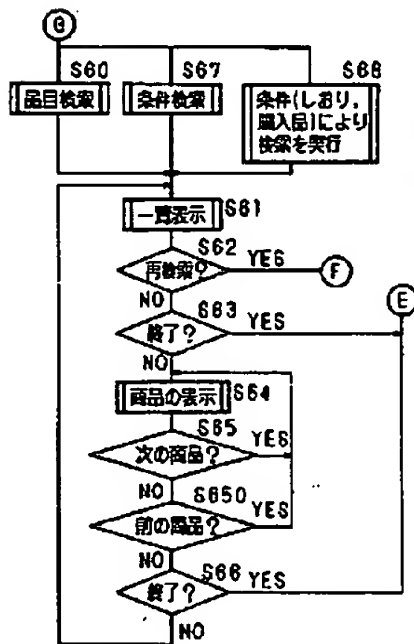
【図2】



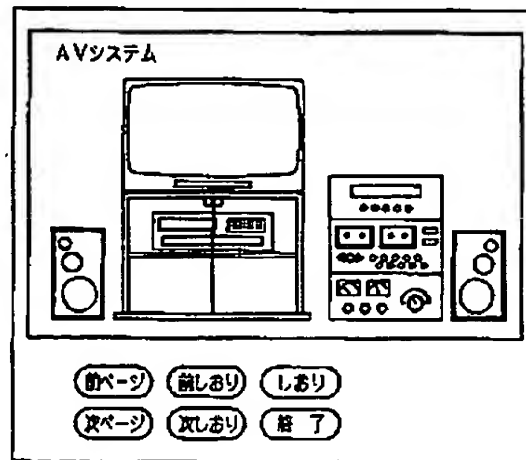
【図3】



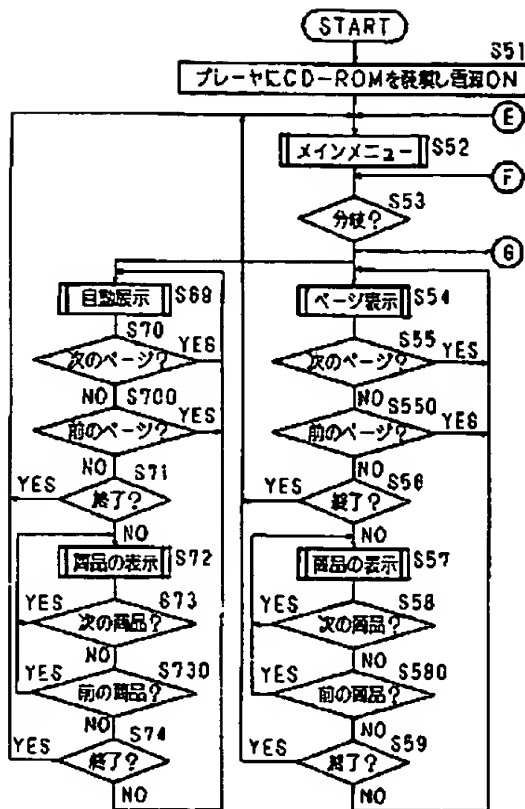
【図5】



【図7】

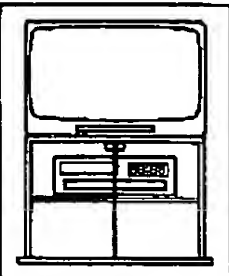


【図4】



【図12】

大型テレビ



品番 AUT 00001  
価格 ¥500,000

特徴  
ワイド画面

関連情報 関連商品

ハイビジョン	ビデオ
テレビCM	オーディオ
?	?

【図13】

条件項目の選択

品目	品名
色	商品コード
サイズ	色
...	...

(a)

条件の選択 (品目)

電気製品	化粧品
日用雑貨	アクセサリ
...	...

(b)

【図14】

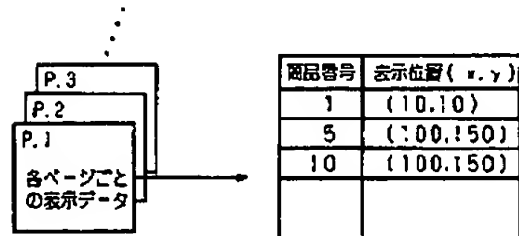
条件による商品検索

条件1. 品目 電気製品

条件2. 価格 ¥10,000~¥100,000

(a)

【図15】



条件による商品検索

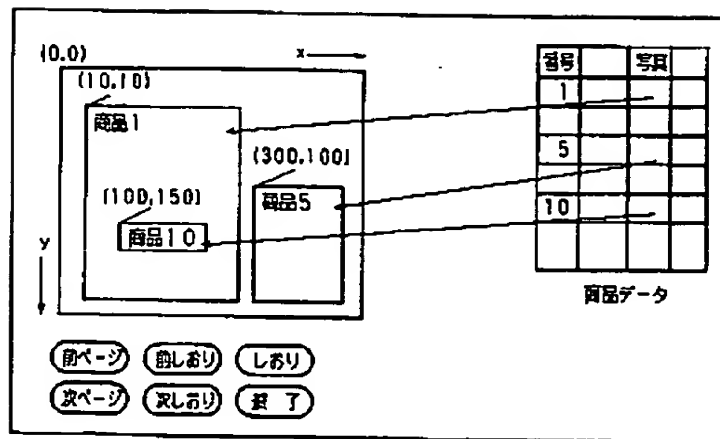
条件1. 品目 電気製品

条件2. 価格 ¥10,000~¥100,000

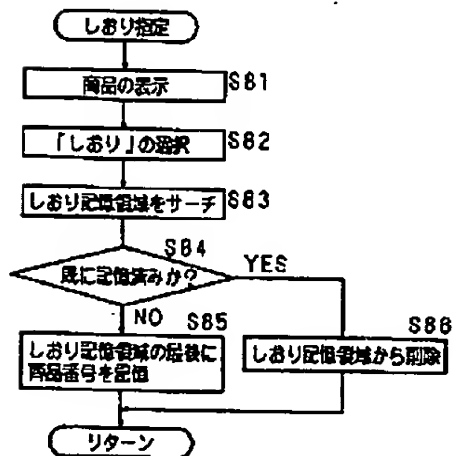
検索件数 15 件

(b)

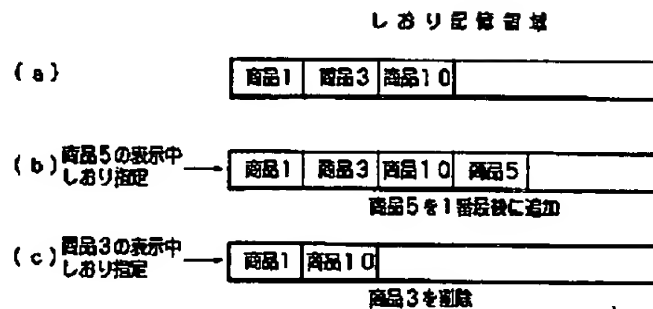
【図16】



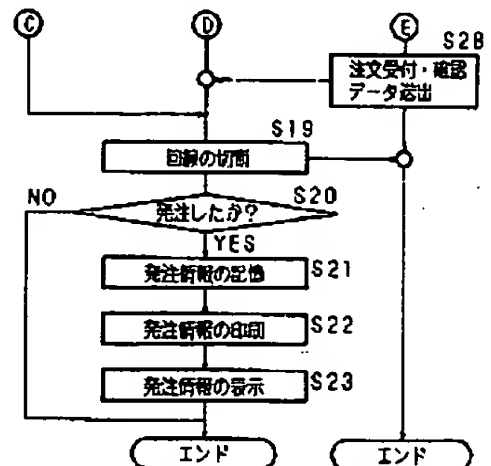
【図17】



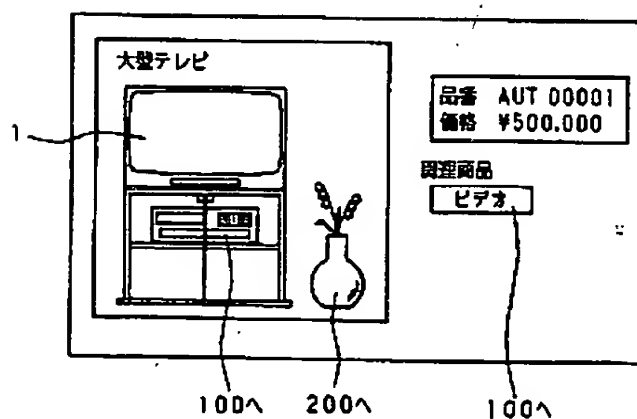
【図18】



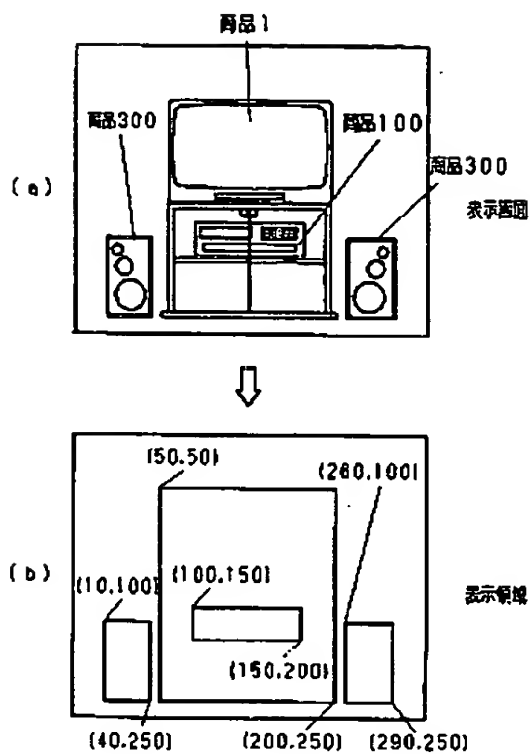
【図24】



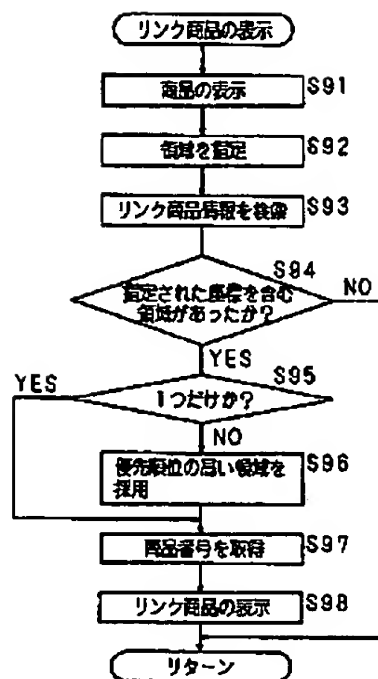
【図19】



【圖20】

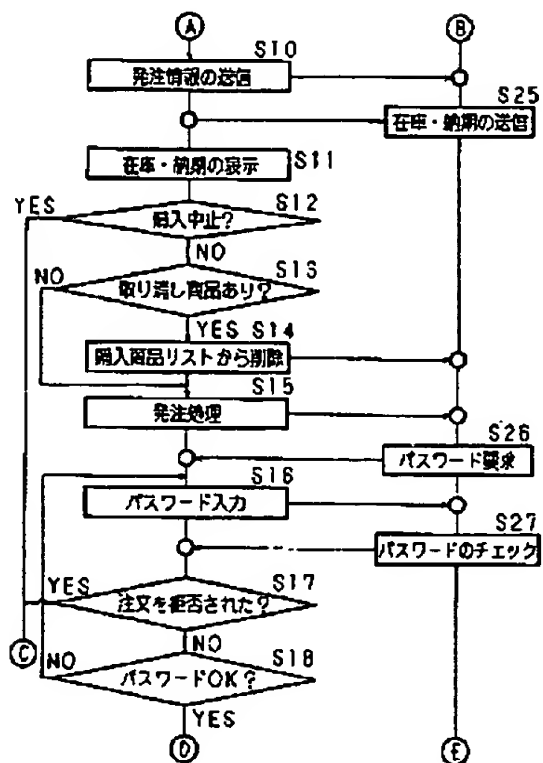
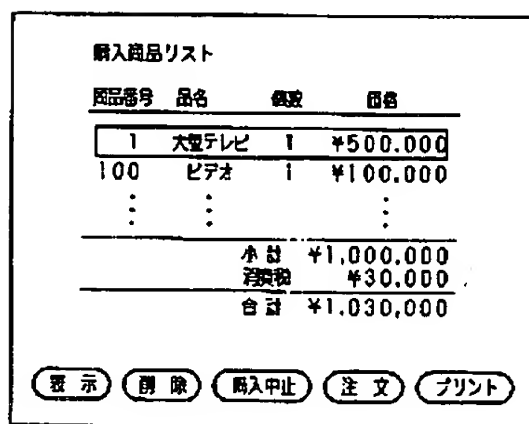


【圖21】

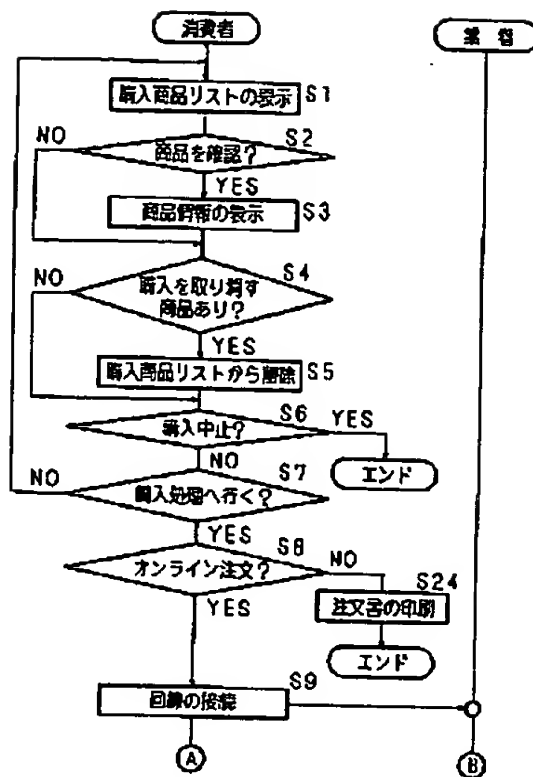


【圖 23】

【圖25】



【図22】



【図26】

購入商品・在庫・納期の概要					
商品番号	品名	個数	価格	在庫	納期
1	大型テレビ	1	¥500,000	なし	1ヶ月
X100	ビデオ	1	(¥100,000)	残り3台	
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
小計			¥700,000		
消費税			¥21,000		
合計			¥921,000		

【図27】

残 高 : 0000  
 注文書 : xxxx 様

パスワードを入力してください

フロントページの続き

(72)発明者 三宅 宏幸  
 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三  
 洋電機株式会社内

(72)発明者 大橋 忠正  
 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三  
 洋電機株式会社内

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**